

エッシャー 不思議のヒミツ Behind the Paradox

Escher

エッシャー

Behind the paradox
不思議のヒミツ

2023.12.14 thu - 2024.2.25 sun

WEB 事前予約制

広報
画像

1

私たちの周りには「不思議」なものがあふれ、そのヒミツを解き明かそうと、日々頭を働かせています。中でも、今なお多くの人々を魅了し続けているのが、オランダの版画家 M.C. エッシャー（1898-1972）が手掛けた作品です。

本展では、エッシャーの初期から代表作に至るまで、150 点を超える作品を展示。今日のトリックアートブームを牽引してきたその画業の全容を紹介し、不思議のヒミツに迫っていきます。

また、作品の面白さを更に実感するために、錯視や視覚の原理を利用した体験コーナーも合わせて紹介します。トリックの面白さを実体験することで、エッシャーの世界観をより深く感じることでしょう。

エッシャー
この冬、視覚の魔術師 が仕掛けたパロックスの世界に、あなたはダマされる？ ダマされない？

展覧会実施概要

Do you know behind the paradox?

- ◆ 名 称 : さがわきつづみゅーじあむ展示イベント
「エッシャー 不思議のヒミツ Behind the paradox」
- ◆ 会 期 : 2023 年 12 月 14 日 [木] ~ 2024 年 2 月 25 日 [日]
- ◆ 開 館 時 間 : 午前 9 時 30 分 ~ 午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)
- ◆ 休 館 日 : 月曜日 (1/8、2/12 は開館)、12/30~1/3、1/9、2/13
- ◆ 入 館 料 : 一般 ¥1,300 / 高大生 ¥900 / 中学生以下無料 ※ただし保護者の同伴が必要
※ 専門学校・専修学校は大学に準じる
※ 障害者手帳をお持ちの方(手帳をご提示ください)、付添者(1 名のみ) 無料

本展は撮影 OK
(フラッシュ不可)



[主 催] 佐川美術館 (公益財団法人 SGH 文化スポーツ振興財団)、NHK 天津放送局、NHK エンタープライズ近畿
[後 援] 滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会
[企画協力] ARTHEMISIA  MAURITS

[制作協力] NHK プロモーション
[協 力] SG ホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、佐川印刷株式会社

WEB 事前予約制

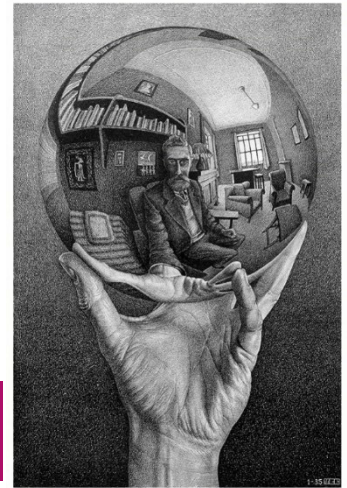
ご予約時にネット決済による
入館チケット購入をお願いします

エッシャー 不思議のヒミツ Behind the Paradox

エッシャーのヒミツ

マウリッツ・コルネリス・エッシャー（M.C.エッシャー）は、1898年にオランダのレーワルデンにて生まれました。父親のジョージは、お雇い外国人として日本の港湾治水事業に携わっていたこともあり、エッシャーの父方の家には父が日本より持ち帰った浮世絵がありました。そうした環境下で育ったエッシャーは、**幼い頃から版画に対する興味を持っていた**と考えられます。

広報
画像
2



建築家を目指して建築装飾美術学校に入学したエッシャーは、教師のサミュエル・イエッスルン・ド・メスキータの勧めもあって、グラフィックアートの道に転向し、徹底的に版画技術の基礎を習得していきます。奇想なトリックだけでなく、緻密で卓越した版画技術も評価されるエッシャーですが、その**基礎は学生時代に築かれた**といえるでしょう。

画家としてデビューした若かりしエッシャーは、イタリアの地に魅了され足繁く通うようになります。**イタリアの美しい風景や街並みは彼の想像力を刺激し**、多作の時代を迎えました。この時描かれたイタリアの風景やモチーフは、後にエッシャーの代表作となる作品中に多数登場します。

1936年、エッシャーにとって大きな転機が訪れます。ファシストの台頭によって前年にイタリアを離れたエッシャーは、**スペインのアルハンブラ宮殿再訪を機に、幾何学模様**に魅了されます。風景画が中心だった作風は一変し、テセレーション（ある形で隙間なく平面を敷き詰めること）作品を夢中で制作するようになりました。

その後、メタモルフォーゼ（ある形が次第に別の形へ変形する）作品や、空間構造の作品、錯視を取り入れた作品など、エッシャー独自の世界観で次々と作品を発表します。人々はそのトリックの世界に魅了され、エッシャーの名前は瞬く間に世界に広まります。



広報
画像
3

一方で、爆発的な人気の広がり、作家の権利を脅かしていました。当時流行していたヒッピー（1960年代にアメリカで生まれた、既成の価値観を否定し脱社会的行動をとった若者たちの意）によって、作品が自らの意図と違う形で解釈され、悪用されたのです。エッシャーは**自身の作品を守るため、1968年に財団を立ち上げ、作品の保存・普及・保護に努めます。**



広報
画像
4

晩年、癌により健康を損なっていたエッシャーは、1969年制作の《蛇》を遺作に、1972年73歳にてこの世を去ります。死後50年以上経った今でも、彼の作品は全世界の人々を虜にしています。

【展示構成】

第1章 デビューとイタリア Debut and Italy
第2章 テセレーション（敷き詰め） Tessellations
第3章 メタモルフォーゼ（変容） Metamorphoses

第4章 空間の構造 The structure of space
第5章 幾何学的なパラドックス（逆説） Geometric paradoxes
第6章 コミッションワーク Commissioned works

エッシャー 不思議のヒミツ Behind the Paradox

展覧会のヒミツ

What are the highlights?

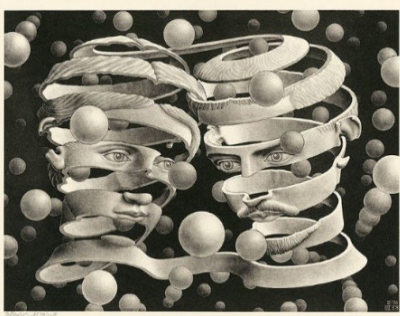
① 初期作品から代表作までを網羅！エッシャーの全容を知る

中でもイタリア時代の作品は必見



本展では、エッシャーが学生時代に制作した作品にはじまり、代表作はもちろんのこと、遺作に至るまで 150 点以上の作品を通してエッシャーの画業の全容を紹介します。中でも、イタリア時代の作品は豊富で、エッシャーが 20～30 代という活動的な時代の中で制作した作品には、後のエッシャー作品のルーツを見出すことができます。版画の細かさ、視点、表現方法・・・どれをとっても必見です。

② カテゴリーごとの作品展示で、新たなエッシャーの側面を知ることができる



エッシャーの興味対象は非常に幅広く、らせん構造、循環、反射面、幾何学的立体など、多くの事象に魅了され、その興味を作品へと昇華させました。本展では、カテゴリーごとに作品を展示することで、エッシャーがどのようなものに興味を抱き、そして何を追及したのかを明らかにします。新たなエッシャーの側面を知る機会になるはずです。

③ 体験展示で錯視や視覚の原理を明らかに

トリックのヒミツを解き明かして、エッシャーにハマる！

本展では、エッシャー作品の世界観を疑似体験することができます。どういう原理で人は錯覚に陥るのか、エッシャーが作品に取り入れたトリックについて、技術的理論ごとに体験セクションを設けます。自分でトリックのヒミツを体感することで、より深くエッシャー作品を理解できるはずです。作品を「見て」、「体感して」、「ハマって」みてください。



広報
画像
5

【作品画像キャプション】 1 ページ：広報画像①《描く手》1948 年 リトグラフ 2 ページ：広報画像②《写像球体を持つ手》1935 年 リトグラフ 広報画像③《昼と夜》1938 年 木版 広報画像④《物見の塔》1958 年 リトグラフ
3 ページ：上より《サン・ピエトロ大聖堂内部》1935 年 木口木版 《婚姻の絆》1956 年 リトグラフ 広報画像⑤キャプション不要
広報画像⑤以外いずれもマウリッツ・コルネリス・エッシャー作、Maurits Collection, Italy
All M.C. Escher works © 2023 The M.C. Escher Company. All rights reserved www.mcescher.com

●広報用画像について

本プレスリリース中に掲載している画像データ（**広報画像と記載されているもの**）をご用意しております。画像データをご希望の方は、同封の作品画像使用申込書（プレゼント用無料観覧券申込付）に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申込ください。

当館ホームページ（<https://www.sagawa-artmuseum.or.jp/press/>）からも画像申請いただけます。

画像使用にあたり、各画像に必ず申込書記載のキャプションと著作権表記を付けてください。

また、画像のトリミング、オーバープリント、上書き、改ざんは出来ません。

画像は使用後必ず削除し、保存しないでください。

WEB上で画像を使用する際は、**低解像度（72dpi）**でしか使用できません。

なお、作品画像につきましては、当該展覧会の広報以外でのご使用はお断りしております。

原稿は企画担当者まで必ずお送りください。確認に期日を要するため、お早めをお願い致します。

◆交通のご案内：

お車ご利用の場合

駐車場有 70 台、美術館入館者は無料

- 名神・瀬田西 IC から湖周道路経由 （約 30 分）
- 名神・栗東 IC から守山栗東線経由 （約 30 分）
- 名神・京都東 IC から湖西道路（真野 IC）・琵琶湖大橋経由 （約 40 分）

鉄道ご利用の場合

- JR 琵琶湖線 守山駅から路線バス 「佐川美術館」下車 （約 35 分）
- JR 湖西線 堅田駅から路線バス 「佐川美術館」下車 （約 15 分）

本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人SGH文化スポーツ振興財団
佐川美術館

〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川 2891
TEL：077-585-7800／FAX：077-585-7810

企画担当学芸員：馬場 まどか（ばば まどか）

m_baba004@sagawa-artmuseum.or.jp

画像使用申込書（読者プレゼント用無料観覧券申込書）

佐川美術館 宛

FAX / 077-585-7810



申込日： 年 月 日

画像の露出・掲載等 ご使用にあたっての 注意	■申請された方法、目的以外には使用しないでください。 ■掲載誌・紙は資料として1部お送りくださいますよう、お願い致します。 ■原稿は企画担当者まで必ずお送りください。確認に期日を要する為、お早めをお願い致します。 ■WEB 事前予約制であることを必ず明記ください。予約の詳細はホームページに記載致します。
ご使用画像 ※ご希望の画像に チェックを入れて ください。	☐ ① M.C.エッシャー《描く手》1948年 リトグラフ ☐ ② M.C.エッシャー《写像球体を持つ手》1935年 リトグラフ ☐ ③ M.C.エッシャー《昼と夜》1938年 木版 ☐ ④ M.C.エッシャー《物見の塔》1958年 リトグラフ ☐ ⑤ 体験展示（キャプションは必要ございません） ①～④の画像を使用する際は、上記キャプションおよび下記の著作権表記を必ずお願い致します。 Maurits Collection, Italy All M.C. Escher works © 2023 The M.C. Escher Company. All rights reserved www.mcescher.com
媒体名	
貴社名	
ご芳名（ご所属）	
ご連絡先	ご住所：（〒 ） メールアドレス： TEL： FAX：
発行予定日	年 月 日 号
使用形態（○印）	Web サイト / 印刷物 （ カラー / モノクロ ）